



題字は松井岳洋筆

No. 422
平成26年2月

発行

(公社) 日本詩吟学院 認可

碩心会

発行者 内山岳青

編集者 伊藤岳光

神奈川県藤沢市辻堂東海岸1-7-28

Tel/Fax. 0466-33-2228

URL <http://sekishin.holy.jp>

新春のご挨拶



会長 内山岳青

新春にあたりご挨拶申し上げます。

昨年皆様のご協力により、多くの行事を滞りなく行うことができましたことを、厚く御礼申し上げます。

趣味の多様化・少子高齢化等の影響で、各種の趣味やサークル活動の多くは会員の維持或いは活動推進面で厳しいものがあります。詩吟界もその例外ではありません。碩心会では数年前から詩吟体験教室（『レッツ詩吟』）を中心に普及活動を行って参りましたが、その成果もあり昨年は十数名の新会員を迎えることができました。普及活動は常に新しいアイデアを取り入れながら、今後とも地道に取り組んでいかなければならない課題です。昨今、年間行事が多すぎて大変だとの声を聞きます。確かに碩心会主体の行事に加え、

総本部や関係団体が主催する大会等へ参加する機会が増加傾向にあります。

大会に出て、多くの人を前に舞台で吟じること、他の人の吟を聴くこと、或いは吟道講座で詩吟について幅広く勉強すること等の機会が多ければ多いほど吟力向上に資するものも大きいと思います。その一方、マンネリになっている行事はないか、簡略化、省力化できることはないか、一部の人に負担がかかり過ぎていないか等を具体的に検討し、効果的な行事運営を図って参りたいと考えます。

詩吟はやればやるほど奥深く難しいと感じられますが、詩吟の楽しさ、良さも増してきます。時には厳しい練習・稽古も必要ではありますが、趣味は趣味として楽しくやって行くことこそが何より大事なことです。

詩吟をやっていればこそその楽しさ感動を共に味わいその輪を大切にしたいと思えます。碩心会にとり、皆様にとりまして充実した一年になりますことを祈念して、新春のご挨拶といたします。

行事予定

詩吟体験教室 Let's SHIGI ~ NI

日時 2月23日(日) 午後1時〜2時30分

場所 逗子市民交流センター第5会議室

日時 3月23日(日) 午後1時〜2時30分

場所 逗子銀座コミュニティセンター

第2回尚齒会全国大会

日時 3月27日(木) 開会10時

場所 日本教育会館

碩心会春季審査会

日時 3月29日(土)

場所 葉山町福祉文化会館大会議室

神静地区吟詠大会

日時 5月22日(木) 開会10時

場所 小田原市民文化会館

第23回青少年吟詠大会

日時 6月8日(日) 開会10時

場所 金沢公会堂

第4回神静地区師範吟詠大会

日時 6月15日(日)

場所 三島市民文化センター

碩心会吟詠温習会

日時 6月21日(土)

場所 葉山町福祉文化会館大ホール

第125回全国吟道大会

日時 10月19日(日)

場所 三島市民文化センター

平成26年初吟会

平成26年2月2日(日)
於 葉山町福祉文化会館



寒梅 吟秀



来賓の神奈川誠吟会会長、両副会長



相馬盆唄 篁風



九月十日 真名瀬



赤い花白い花 渚



酔吟おけさ 酔吟



最後は全員で「上を向いて歩こう」大合唱

参加人数 143名 懇親会当番支部 紫陽花、真名瀬支部

盛会だった初吟会

式典時の内山会長の年頭挨拶では、「昨年
は多くの行事があったが、つつがなく終了で
きた。行事の準備はもう少し簡単にできない
か。忙しい人に偏っているように思う。会員
増強については昨年は十数名の入会者があつ
たが、年末では若干減少しており、年齢、健
康等の退会要因を考えても勿体ないと思う」
旨がありました。

来賓の桑波田誠吟会会長から詩吟の普及で
大切なことは、吟のアピール即ち吟技の向上
は必須である旨の祝辞がありました。
式典終了後待望の懇親会が行われ、踊り、
カラオケ、遊戯、替え歌等近年稀にみる楽し
い内容で、時間の経過を忘れました。高見

昇伝段位認許

(平成26年1月1日付)

皆伝 2名	104 今井桐岳	105 小林芳岳
九段 3名	9 有友嘉岳	97 有馬昌岳
十段 4名	79 森合磐岳	80 山田遼岳
82 浅野健岳		81 大内翠岳
総伝 2名	61 松岡岳杏	62 鈴木岳祐

相州岳風連合吟詠大会

篁風支部 吉田新泉

11月23日(土)、葉山町福祉文化会館に於
いて第6回相州岳風連合吟詠大会が開催され
た。快晴に恵まれて、寒い中、各自期待と不
安のおももちに身を包みながら開始を待つて
いた。

今回のコンクールは二度目で、昨年は何が
何だかわからぬうちに終わってしまった。出
場の機会を頂いてから半年余り練習に練習を
重ねて来た。先生からは、詩の心が伝わるよ
うに度々指導を受けた。どうすれば伝わるの
か、自分なりに工夫をしてみた。だが、いざ
本番になるとやはり力みが入って、転句に
移った時、息を一気に使ってしまった。詩の味
わいをなくしてしまった。そして後がただだ
だ大声で吟じるのみになってしまった。どう
にか最後まで吟じたが、終わった時には、無
念の思いが募るのみであった。当日朝の練習
も上手にできていたのに残念です。

これからもいろんな方々の詩吟を聴き、
数々の詩を味わい、一日一日を大事にして、
切磋琢磨していきたい。
コンクールの総評で、言葉をはつきりと、
アクセントを正しく発音するように、素読を
しっかり行うことを指摘なさっておられた
が、心していききたい。

「吟詠と詩舞の集い」に参加して

渚支部 新田香山

おだやかな晴天に恵まれた平成25年11月30
日(土)、葉山町福祉文化会館にて標記大会
が午前10時15分に開催されました。今回の企
画、運営に携わって下さった内山会長を始め
企画担当の皆様構成により、日々の練習の
成果を発表する機会でした。

大会のメインである立体吟詠の茶道吟では
裏千家の樋口宗賀先生の立礼で厳肅な中で始
まりました。男性3名、女性4名の吟者の音
域の高さが違うので「間」の流れがもう少し
スムーズであつたら、所作と吟が心に染みて
一体感となり、一層良かったのではないかと
思いました。居合道では柳生新陰流田島道場
の皆さまの歯切れ良い動作の演武披露でし
た。また少年少女吟詠の3名は将来が楽し
みな吟詠で、うれしく、頼もしく聴かせて頂
きました。

11月は23日に相州岳風連合吟詠大会、26日
逗子詩吟詩舞大会、30日に吟詠と詩舞の集い
と一週間に三つの吟詠大会があり、日程に追
われ練習が十分にできなかったのではないかと
思いました。今後、検討して頂きたい課題
かと思えます。二十五年度の行事は今回を
もって恙無く終わりました。役員の皆様、一
年間ありがとうございました。

雅号の由来

真澄支部 青木岳紅

私は僧服に掛ける袈裟のように、へその緒を身にまとい産声を上げたそうです。

袈裟乃を書きやすくケサノと命名したとのこと、度々名前の由来を尋ねられ、そのつど不本意な思いをし、できることならと変名も考えました。

詩吟を始め、雅号を頂けることになり名前の一字を引用すべく、大変悩みました。

先師広瀬岳翔先生が「私は娘の一字を使っているのよ」とのアドバイスを頂き、私は迷わず夫の『梅』の一字を拝借、梅泉から梅岳、総伝を頂く際他にと思案の末、岳紅に修めました。

『紅』はどこから？

夫が脳出血という病に倒れ、やむなく閉店した和菓子店『紅谷』という屋号からです。父が修行を積んで暖簾分けの店名です。店は私達夫婦の人生の原点です。

因みに夫は都山流尺八の雅号、太山を頂いています。残念ながら太山、岳紅の共演は夢となり、惜しいかな尺八は現在我が家のクローゼットにて眠っております。

先日、吹奏楽に夢中の孫娘に尺八を勧めてみましたが？？でした。

碩心会の遠足

渚支部 加藤茗山

碩心会の『歩こう会』が11月11日に行われ、参加者22名、快晴に恵まれJR逗子駅を10時に出発、浜へ向かい、波打ち際を西に歩き国道へ、有名な徳富蘆花の『不如帰』の主人公、武男と浪子の『浪子不動』へ、ここで『舟艇守の尺八』を吟じた。ここより披露山へ、つづら折りの小径をのんびりと登り、そこで合吟し、昼食の弁当を食べ解散した。

少年少女時代の楽しさが甦った一日でした。

平成 25 年度 吟詠と詩舞の集い 会計報告			
	科 目	金 額	摘 要
収入の部	大会補助金	50,000円	本会計より受入
	出 吟 料	160,000円	1,000円×160名
	懇親会参加費	120,000円	1,000円×120名
	合 計	330,000円	
支出の部	会 場 費	74,030円	ホール、大会議室、その他使用料
	弁 当 代	119,358円	弁当、お茶
	懇親会飲食費	91,525円	飲み物、オードブル、つまみその他
	傷 害 保 険	2,520円	
	会 議 費	7,676円	準備諸会議経費
	制 作 費	14,645円	プログラム250部、ポスター90枚
	謝 礼 費	10,000円	居合い、茶道
	運 送 費	2,000円	茶道用道具
	雑 費	3,695円	役員名札、用紙、コピー代、その他
	次期繰越金	4,551円	本会計へ返戻
	合 計	330,000円	

“みんな”で増やそう新会員

会 員 の 動 き

- * 入会 (12月1日付)
 - 226 峯岸康之 (真澄) みねがしやすゆき
 - 逗子市久木 8-8-19
 - TEL 046-873-9298 紹介者 菊池岳悠
- * 退会
 - 100 小暮洋子 (真澄)
 - 183 水谷伊織 (吟秀)

編集後記

2014年、新春号をお届け致します。
近年、会員は高齢化により次第に減少傾向をたどっております。詩吟の普及に向けて、会員皆様のご協力を宜しくお願い致します。
機関誌『碩心』及び『ホームページ』に関するご意見、ご要望をお寄せください。

広報部

26年2月1日現在会員数
 葉山地区 77名
 逗子地区 120名
 合 計 197名